

育てよう！真っ赤な実を
新宿発!! 伝統の野菜 “内藤とうがらし”

日時：4月29日（土祝）～4月30日（日）

5月2日（火）～5月7日（日）

午前9時～午後4時 ※荒天中止

※苗の販売はなくなり次第終了

場所：新宿御苑 インフォメーションセンター前広場

苗販売/内藤とうがらし歴史・文化展示/内藤とうがらし加

工品販売/レストラン・カフェにてオリジナルメニュー提供

※都合により、日時、内容が変更となる場合がございます。

内藤家下屋敷(現・新宿御苑)で生産されていた
内藤とうがらしは、当時のそば人気とあいまって、
江戸中の評判だった。

江戸中に「内藤とうがらし」が評判になると、

内藤新宿宿場近辺の農村地帯でも唐辛子の生産が

活発になり、「新宿から大久保へかけて真っ赤な絨毯をしきしめた光景」といわれるほど
地域ブランドとして「内藤とうがらし」が定着していたようです。

(新編武蔵風土記、武江産物史、守貞漫稿、新宿の伝説口碑などより参考)



2008年より江戸の歴史を研究、「とうがらし史」を編集、

内藤とうがらしの種を復活させ、内藤とうがらしをブランド化。

<問合先>内藤とうがらしプロジェクト E-mail:edoya@nalnet.jp FAX:03-5827-2018

内藤とうがらしプロジェクト 検索

主催：一般財団法人国民公園協会新宿御苑、内藤とうがらしプロジェクト

共催：環境省新宿御苑管理事務所 後援：新宿区

内藤とうがらし苗



江戸東京野菜